

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名	10	老人クラブ助成事業	
根拠法令・例規等	老人福祉法、岡山県老人福祉法(在宅)補助金交付要綱		
問	担当課(室)	介護福祉課	
合	職・氏名	高齢者福祉係長 森中信行	
先	電話	0869-64-1827	
	このシート作成に要した時間	1.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	老人クラブ会員
目的(何のために)	地域の高齢者が生活を豊かにする楽しい活動や地域を豊かにする社会活動を目的に組織している老人クラブに対し、その育成・支援を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	高齢者が日常的に健康づくりに取り組んだり、社会活動に積極的に参加できるようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	老人クラブ助成事業	老人クラブの活動、事業に対し補助金を交付する。	
	高齢者健康づくり補助事業	料理教室、水泳教室、グラウンドゴルフなどで高齢者が集まり、閉じこもり防止、健康づくりを推進している。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
老人クラブ加入率	目標値(A)	43	43	39	40
	実績値(B)	41	38	38	到達目標値
	達成率(B/A)	95.35%	88.37%	97.44%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
会員数 / 60歳以上人口 × 100					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	各地区とも単位クラブ結成の最低人数である30人に達していないクラブがある。各地区老人クラブの事務局は老人クラブが自主運営をしている。市老人クラブ連合会の事務局の移管は不調に終わっているが、今後できるだけ、自主運営を促しながら支援を続ける。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		5,939	6,000	5,489	
	必要人員(人件費)	千円	0.29人	2,331	0.29人	2,270
	事業費		8,270	8,270	8,944	
	国県支出金		4,034	4,287	3,954	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		4,236	3,983	4,990		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	老人クラブ会員数	説明	加入会員の推移			
	結果指標量	事業	6,107	5,939	5,679	
	対前年比	%	-	97.2%	95.6%	
	活動コスト	円	11,194,000	8,384,000	9,388,000	
単位当たりコスト		1,833	1,412	1,653		

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
老人クラブは、市内最大の組織であり、高齢者の健康づくり、社会奉仕活動を通じて、明るく活力ある高齢者社会を形成するため、今後も事業を継続していく必要がある。しかし、会員数が減少している中で、老人クラブの活性化について検討するとともに、より効果的・効率的な事業展開を行う必要がある。	評価区分 <A-E> C	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	会員拡大に向けて加入促進策を図る。					